



つなぐらぼ  
こころのコンパレーション

スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

つながりのはじまり

こんなエピソードがありました。子どもが「おはよう」と起きてきた時に、お母さんが「早く朝ごはん食べなさい」「ただいま」と帰ってきた時に「宿題済ませなさい」「おやすみなさい」と寝る時に「明日の朝、ちゃんと起きるんだよ」。

このやりとりについて、みなさんはどう感じ、考えられるでしょうか。それぞれの感じ方や考え方があっていいと思いますが、「おはよう」と言われれば「おはよう」「ただいま」と言われれば「おかえり」「おやすみ」と言われれば「おやすみ」というあいさつをしたいと思います。

もしかすると最初にあげたエピソードは、すでにそのやりとりがその親子のあいさつになっているのかもしれないですが、そう考えると苦笑してしまいます。そ

れに、こういったやりとりが続くことで、親子共々がギスギスして家庭のつながりが損なわれていつてしまっているのではないかと心配になります。

何が人と人の「つながりのはじまり」になるかはわかりませんが、相手の存在を認めた時に、身振り手振り、ことば、視線を合わせるなど、その場お互いのいろんな想いや意味を含んだ「つながりのはじまり」のひとつとして「あいさつを交わす」ということがあります。

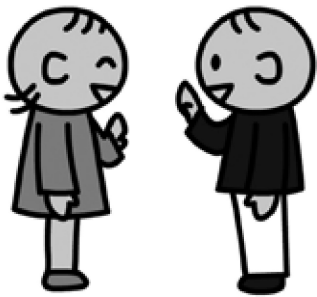
こんなエピソードもありました。なかなか教室に行けない女の子が勇気を出して教室に行った際に、「○ちゃんの手を振ってくれたの！」と相談室に戻って来て、嬉しそうに話してくれたことがありました。言葉を交わしたわけではなく、かっただけですが、こういったやりとりで勇気が報われた、自分の存在に気付いてくれた、ということが嬉しかったようです。

あいさつは強制されるものではないかもしれませんが、「あいさつ運動」や「あいさつ週間」など、意識的にあいさつをこころがけることもあります。反対に「知らない人にはあいさつしない」といった考え方もありま

す。何が起きるかわからないご時世においては、「あいさつ」をめぐる考え方は様々です。ですが本来であれば、あいさつはルールやきまりで縛られるものではなく、自分と、相手や周りとのつながりを大切にしながら自然に発生する行動なのだと思います。

あいさつをする、しないはそれぞれの考え方、相手との関係性が関わってくるようなのですが、誰かの何気ない言葉や表情に気持ちが悪くなることもあるでしょうし、自分で意図して誰かの支えになつていたり、逆にあいさつしたのに、あいさつが返ってこなくて気持ちが悪くなることもあるかもしれません。

一人ひとりが、相手や周りとの関係性と、自分がどうしていきたいのかを大切に「あいさつ」を見直してみたいものですね。



中央公民館講座案内

対象者	町内在住者または在勤者 ※受講希望者が5名以内のときは、開講しない場合があります。
申し込み	1月4日(水)8時30分より、中央公民館窓口または電話で申し込んでください。定員になり次第、締め切らせていただきます。
費用	材料費・テキスト代 ※初日に集金します。おつりの無いようお願いいたします。 ※欠席・途中キャンセル時は払い戻しいたしませんので予めご了承ください。
<b>●エクセル教室</b>	
とき	1月11日(水)・13日(金)・18日(水)・20日(金)・25日(水)・27日(金) (全6回) 14時～16時
費用	テキスト代 500円
持ち物	ノートパソコン・マウス・ACアダプター・スリッパ・筆記用具・印鑑 (初日のみ) ※Windows機種のパソコン以外は使用できません。 ※初日に環境テストを行います。インターネットへ無線で接続できるパソコン利用者を対象とします。
講師	本木 敦子先生
定員	12名
<b>●ホテルシェフによる料理教室</b>	
とき	1月18日(水)、2月1日(水)・8日(水)・15日(水) (全4回) 18時30分～20時30分
費用	材料費 4,000円
持ち物	エプロン・三角巾・フキン (食器拭き用)、タッパー、筆記用具
講師	高柳 雄輝先生 (旧軽井沢ホテル音羽ノ森シェフ)
定員	20名